



Netflix の動向と撮影カメラ認証機器

川上 一郎

先週発表された Netflix の今年の第 1 四半期決算報告 1) が話題を呼んでいる。米国時間 4 月 19 日に発表された第 1 四半期 (1 ~ 3 月) の決算報告では、表 1 の最上段 Q1'22 の列に示しているように 78 億 6 千 8 百万ドルで、対前年比では 9.8% 増となり、ここ最近での売上増加よりは減速傾向が顕著となった。この背景には、当然のことながらロシアによるウクライナ侵攻

でロシアやウクライナでの事業が停止状態となったことにくわえて、未だに新たな変異株が猛威を振るうコロナパンデミックがある。

また、全世界での有料視聴者数が 2 億 2,164 万人と、昨年末より 20 万人減少となっており、ここ 10 年は視聴者数増加が続いていた Netflix にとって、初の視聴者数減少となったことが、メディア関連の報

道では大きく報じられており、ロシアによるウクライナ侵攻が、いわゆる局地紛争にとどまるのか、はたまた NATO を巻き込んだ欧州全体の大戦となるのかは予断を許さないところである。

また、表 2 には地域別の売上と視聴者の動向を示している。北米地域 (UCAN Streaming) では売上は 33 億 5 千万ドル

| (in millions except per share data) | Q1'21 | Q2'21 | Q3'21 | Q4'21 | Q1'22 | Q2'22 Forecast |
|--|----------|----------|----------|----------|----------|-------------------|
| Revenue | \$ 7,163 | \$ 7,342 | \$ 7,483 | \$ 7,709 | \$ 7,868 | \$ 8,053 |
| Y/Y % Growth | 24.2% | 19.4% | 16.3% | 16.0% | 9.8% | 9.7% |
| Operating Income | \$ 1,960 | \$ 1,848 | \$ 1,755 | \$ 632 | \$ 1,972 | \$ 1,730 |
| Operating Margin | 27.4% | 25.2% | 23.5% | 8.2% | 25.1% | 21.5% |
| Net Income | \$ 1,707 | \$ 1,353 | \$ 1,449 | \$ 607 | \$ 1,597 | \$ 1,354 |
| Diluted EPS | \$ 3.75 | \$ 2.97 | \$ 3.19 | \$ 1.33 | \$ 3.53 | \$ 3.00 |
| Global Streaming Paid Memberships | 207.64 | 209.18 | 213.56 | 221.84 | 221.64 | 219.64 |
| Y/Y % Growth | 13.6% | 8.4% | 9.4% | 8.9% | 6.7% | 5.0% |
| Global Streaming Paid Net Additions | 3.98 | 1.54 | 4.38 | 8.28 | -0.20 | -2.00 |
| Net cash provided by (used in) operating activities | \$ 777 | \$ (64) | \$ 82 | \$ (403) | \$ 923 | |
| Free Cash Flow* | \$ 692 | \$ (175) | \$ (106) | \$ (569) | \$ 802 | |
| Shares (FD) | 455.6 | 455.1 | 454.9 | 455.8 | 453.0 | |
| Note: Figures are consolidated, including DVD. | | | | | | |
| * Free cash flow represents Net Cash provided by (used in) operating activities less purchases of property and equipment and change in other assets. | | | | | | |

表 1 Netflix の直近四半期別経営状況

| (in millions) | Q1'21 | Q2'21 | Q3'21 | Q4'21 | Q1'22 |
|--------------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| UCAN Streaming: | | | | | |
| Revenue | \$ 3,171 | \$ 3,235 | \$ 3,258 | \$ 3,309 | \$ 3,350 |
| Paid Memberships | 74.38 | 73.95 | 74.02 | 75.22 | 74.58 |
| Paid Net Additions | 0.45 | -0.43 | 0.07 | 1.19 | -0.64 |
| Average Revenue per Membership | \$ 14.25 | \$ 14.54 | \$ 14.68 | \$ 14.78 | \$ 14.91 |
| Y/Y % Growth | 9% | 10% | 10% | 9% | 5% |
| F/X Neutral Y/Y % Growth | 9% | 9% | 9% | 9% | 5% |
| EMEA: | | | | | |
| Revenue | \$ 2,344 | \$ 2,400 | \$ 2,432 | \$ 2,523 | \$ 2,562 |
| Paid Memberships | 68.51 | 68.70 | 70.50 | 74.04 | 73.73 |
| Paid Net Additions | 1.81 | 0.19 | 1.80 | 3.54 | -0.30 |
| Average Revenue per Membership | \$ 11.56 | \$ 11.66 | \$ 11.65 | \$ 11.64 | \$ 11.56 |
| Y/Y % Growth | 11% | 11% | 7% | 5% | 0% |
| F/X Neutral Y/Y % Growth | 4% | 2% | 3% | 6% | 6% |
| LATAM: | | | | | |
| Revenue | \$ 837 | \$ 861 | \$ 915 | \$ 964 | \$ 999 |
| Paid Memberships | 37.89 | 38.66 | 38.99 | 39.96 | 39.61 |
| Paid Net Additions | 0.36 | 0.76 | 0.33 | 0.97 | -0.35 |
| Average Revenue per Membership | \$ 7.39 | \$ 7.50 | \$ 7.86 | \$ 8.14 | \$ 8.37 |
| Y/Y % Growth | -8% | 1% | 8% | 14% | 13% |
| F/X Neutral Y/Y % Growth | 5% | 2% | 8% | 17% | 20% |
| APAC: | | | | | |
| Revenue | \$ 762 | \$ 799 | \$ 834 | \$ 871 | \$ 917 |
| Paid Memberships | 26.85 | 27.88 | 30.05 | 32.63 | 33.72 |
| Paid Net Additions | 1.36 | 1.02 | 2.18 | 2.58 | 1.09 |
| Average Revenue per Membership | \$ 9.71 | \$ 9.74 | \$ 9.60 | \$ 9.26 | \$ 9.21 |
| Y/Y % Growth | 9% | 9% | 4% | -1% | -5% |
| F/X Neutral Y/Y % Growth | 3% | 1% | 2% | 2% | 1% |

表2 Netflixの地域別売上状況

と昨年第4四半期よりは微増となっているものの、有料視聴者数は7,458万人に減少し昨年第4四半期より64万人の減少である。

欧州中東アフリカ地域（EMEA: Europe-Middle East-Africa）では売上が25億6200万ドルと微増となったが、視聴者数は7,373万人に減少し昨年第4四半期より31万人の減少である。

中南米（LATAM）地域では、9億9900万ドルと3,500万ドルの増収となったが、視聴者数は3,961万人と5千人の減少となっている。

アジア太平洋地域（APAC）では9億1,700万ドルで4,600万ドルの増収となり、視聴者数も3,372万人と109万人の増加となっている。

図1に示しているのが米国のストリーミングサービスの動向であり、Netflixは昨年3月末の6%から6.4%へとわずかながらシェアを増やしており、YouTubeは6%から5.7%へと減少し、huluは3%で横ばい、Amazon Prime videoは2%から2.3へと増加し、Disney+は1%から1.7%へと上昇している。その他の新規参入ストリーミングサービスは8%から9.5%へと増加しており、AT&T参加のワーナーディスカバリー等がどの程度シェアを伸ばしてくるかが注目されている。

一方では、Netflixの事業形態では市場が飽和しているのではとの観測も強くなってきており、広告が入る代わりに無料もしくは極めて少ない金額で視聴できる事業形態との競合がある。表2に示している地域

別の視聴料金も北米地域では\$14.91、欧州中東地域では\$11.56、中南米地域では\$8.37、そしてアジア太平洋地域では\$9.21と地域特性に合わせた設定とはなっているが、広告付き低価格視聴サービスとの競合をどのように回避していくのか、また既存放送業界のリアルタイム中継に変わる新たなネット視聴サービスに挑戦するかが注目される場所である。

Netflixは競合各社との差別化を図るために、新人クリエイターの登用を積極的におこなっており、世界最大のインディペンデント系映画祭であるサンダンス映画祭でのもっばらの話題はどの作品がNetflixに買い上げられたのかである。また、日本のアニメプロダクションでもアジア向け等の

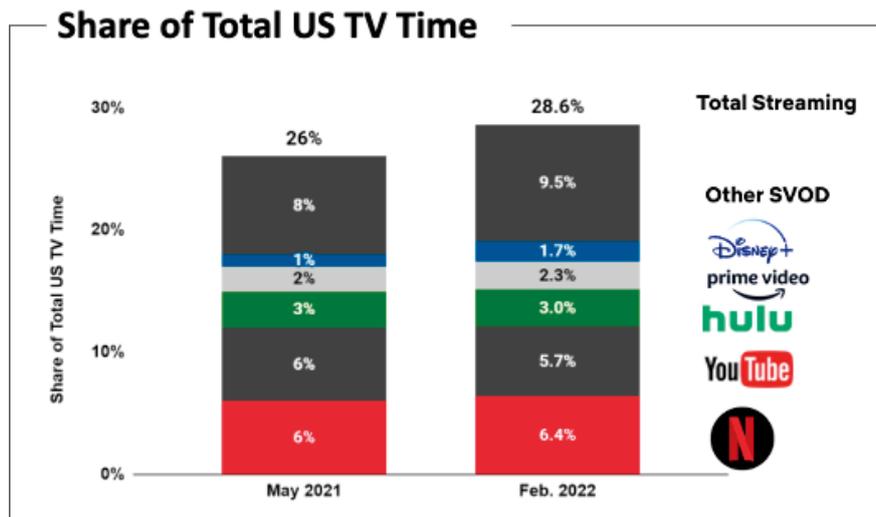


図 1 米国でのストリーミングサービス市場占有率
Source : Nielsen. Note : Hulu and YouTube figures include their virtual MVPD services.

Cameras Behind Best Netflix Original Movies of 2020* Approved vs. Non-Approved segmentation

Y.M.CINEMA MAGAZINE



図 2 2020年Netflix制作映画使用カメラ比率

新規アニメ制作の発注が続くなどしており、クリエイターに正当に評価されたギャラが支払われる好循環を生み出していることは幸いである。

また、配信する作品の画質を担保するために撮影機材の認証制度を設けており、図 2 にしめしているように、2020年にNetflixが制作した映画作品の71%は認証されたカメラを使用している。認証されて

いないカメラはARRI ALEXA Miniが4作品、フィルムカメラのARRICAM LTが2作品であったが、最近のインディペンデント映画制作で一般的に使用されているカメ

ラを使用した場合に、Netflixが承認するであろう画質基準にするために必要な設定を図 3-1 から 3-4 に示している。

図 3-1 は iPhone 12 Pro での Netflix 向

参考資料

- https://s22.q4cdn.com/959853165/files/doc_financials/2022/q1/FINAL-Q1-22-Shareholder-Letter.pdf
- <https://ymcinema.com/2022/04/18/shooting-for-netflix-on-the-iphone-12-pro/>

け推奨撮影設定である。記録フォーマットを4K2160p, FILMiC Extreme 10bitに設定し、ガンマ形式はLog V3となっている。また、iPhoneの設定をAirplane(機内モード)にして撮影中に着信が入る等の妨害が入らないようにする。また、“Landscape”(風景撮影モード)に設定し、画面の水平が保たれるように注意する必要があるとしており、安定化のためのカメラジンバルの使用が推奨されている。

図3-2はアクションカメラとして定番のGoProである。設定するイメージフォーマットは5k/4kでレンズモードはワイド、そしてアクションカメラならではのカメラ内部でのブレ補正処理を行うHyperSmoothはOffに、記録ビットレートはHighに、カラーはFlat、ホワイトバランスはNative、画像の先鋭化処理を行うSharpnessはLowにすることが推奨されている。

図3-3はハイスピードカメラとして有名なPhantom Flex4Kである。ファイルフォーマットはCine RAW、解像度は4096x2394、ガンマはPhantom Logとし、タイムコードセッティングに注意が必要とされている。

図3-4は分離型構造で話題を集めているDJI Zenmuse X7である。ビデオフォーマットはCinema DNG/ProRes4444XQ/ProRes RAW HQのいずれかを選択し、解像度設定は6016x3200にすることが推奨されている。

Netflixの画質に対する推奨スペックは、承認されていない機種については可能な限りの高画質で撮影し、記録形式は可能な限り高画質となるRAW形式で、そして色空間はNetflixのネイティブカラースペースを使用することなどの表現となっていることから、前述の各カメラ毎に異なる推奨設定が必要となってくる。



図 3-1 iPhone12 Pro: Netflix 4K Serring

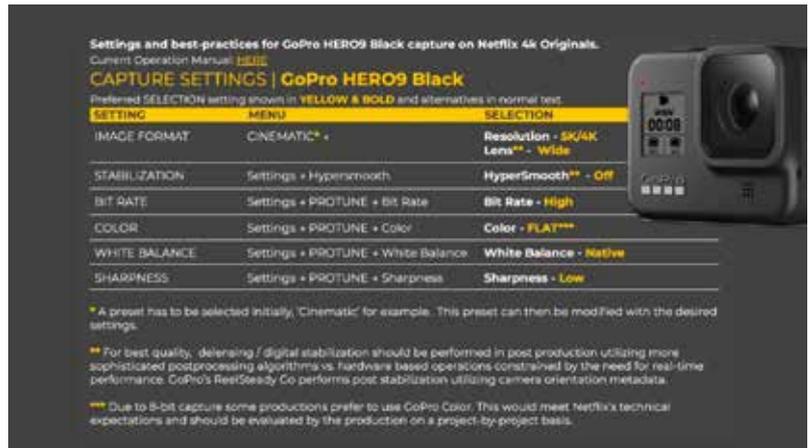


図 3-2 GoPro HERO9 Black : Netflix 4K Setting

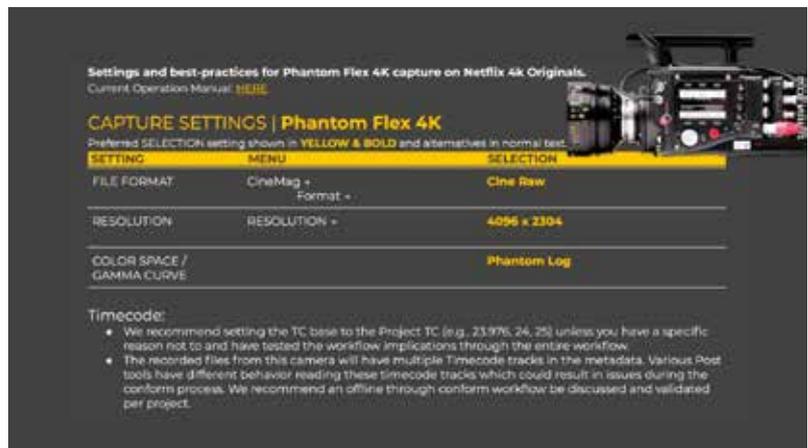


図 3-3 Phantom Flex 4K : Netflix 4K Setting

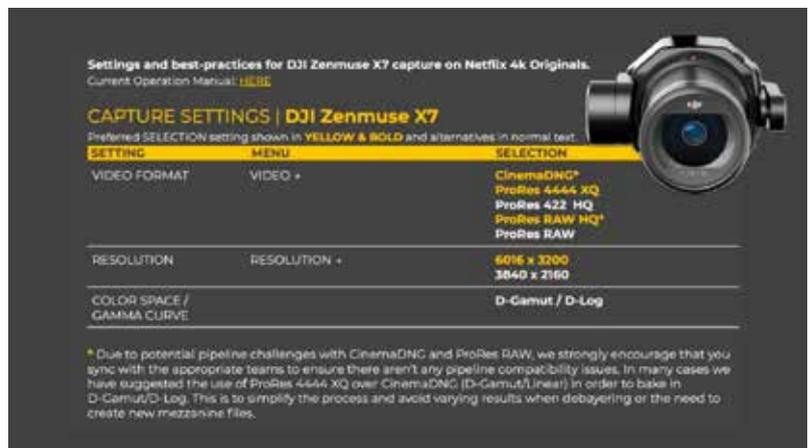


図 3-4 DJI Zenmuse X7 : Netflix 4K Setting

Ichiro Kawakami
デジタル・ルック・ラボ